

鉦物悲譚

オイリュトミー公演

鉦物悲譚

構成・鯨井謙太郎

オイリュトミー・浅見裕子 野口泉 鯨井謙太郎

作品
エドガー・ア・ポー作
「アナベル・リー」
「死美人」

H・バーセル作曲
「組曲2番ト短調」
「グラウンド ハ短調」

E・イザイ作曲
「無伴奏ヴァイオリン・ソナタop27・1-4」

A・シュニケ作曲
「ピアノ五重奏曲-2」

間に接吻を。

2009年4月17日(金)

仙台市青年文化センター・シアターホール



「鉱物悲譚」 仙台公演に寄せて

20世紀初頭のヨーロッパに始まったダンスムーブメント、オイリュトミーは、以来、常に時代の力を呼吸するようにしてメタモルフォーゼしてきた。

一つの文化や、自然の風景が、その時代によって変化してゆくように、

人間のカラダも、歴史とともに創られ、限りなく変容してゆくものであろう。

翻つて思うに、現在私たちは、古今未會有のテクノロジー文化の時代にある。

人間の生命形式の根底を揺るがす、この生物学的革命のさなか、

一体、人間はどこまで機械によって情報化されてゆくのか？

これがカラダ？ これがセイメイ？ これがイシキ？ これが……果たして？

今、この測り知れない時代の謎を受けて、

私たちは一つの答えを返さねばならない。

「鉱物悲譚」

それは、遙か古の時代より、今もなお繰り返されている、

光と闇の闘争と、絶望と、変容の時。

かつてない闇を前にスパークし続けてゆく、この宇宙創造過程の現場が、

二〇〇九年、願わくはここ仙台の地に、

一つの新たな神話となつて出現せんことを。

皆様には是非とも御来場、御高覧をいただきたく、

ここに篤くご案内申し上げる次第です。

鯨井謙太郎



浅見裕子

大学在学中よりダンス活動を始め、様々な作品を上演。'01～'02年に仏に滞在し、映像作家、俳優との共作を発表。

'02年より笠井勲に師事。オイリュトミーシュール天使館第三期を経て、フォルトコースでは舞台公演を重ねる。'08年 笠井勲×高橋悠治『透明迷宮』に出演。



野口泉

牡羊座O型

武蔵野美術大学映像学科卒。

在学中より櫻井郁也のオイリュトミークラスに参加。

'02年より笠井勲に師事。オイリュトミーシュール天使館第三期卒業後、舞台実習を行う同フォルトコースを修了。

'08年2月、笠井勲×高橋悠治『透明迷宮』に出演。同4月、高橋悠治演奏によるオイリュトミー公演『フーガの技法』に出演。



鯨井謙太郎

1980年仙台生まれ。幼少の頃、オイリュトミーに出会う。

'02年に上京し、笠井勲に師事。

オイリュトミーシュール天使館第三期及び、2年制のオイリュトミー研究コースを修了。笠井勲×高橋悠治『透明迷宮』、『フーガの技法』他多数の公演に出演。

作品

エドガー・A・ポー作

「アナベル・リー」

「死美人」

H・パーセル作曲

「組曲2番ト短調」

「グラウンド ハ短調」

E・イザイ作曲

「無伴奏ヴァイオリン・ソナタop27・1-4」

A・シュニトケ作曲

「ピアノ五重奏曲-2」

■ オイリュトミー / 浅見裕子 野口泉 鯨井謙太郎

■ 演奏 / ピアノ 上田早智子

弦楽四重奏 (Vn)長谷川美夏 (Vn)高柳千尋
(Va)原島峰子 (Vc)矢巻美保子

■ 朗唱 / 笠井禮示

■ 構成 / 鯨井謙太郎

■ 照明 / 丸山武彦

■ 照明オペレーター / 古矢涼子

■ 宣伝美術 / TOJU

■ 協力 / PEG

■ 制作 / 月のピトゥリ・トリナ

「鉱物悲譚」

2008年/11月 ヴィオ・パーク劇場(松本)にて初演

2009年/3月 中野テルブシコール(東京)にて再演

オイリュトミー公演 鉱物悲譚

2009年4月17日(金)

開場18:30 開演19:00

仙台市青年文化センター・シアターホール

仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5【市営地下鉄/旭ヶ丘駅(仙台駅から約10分)下車・東1番出口より徒歩3分】

■ チケット：前売 2,500円 当日 2,800円

■ 予約・お問合せ：022-224-6946(月のピトゥリ)

mail予約：koubutsu_sendai@yahoo.co.jp

■ 公演情報 <http://koubutsu.exblog.jp>